

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第 1 面）

産業廃棄物処理計画書							
令和 5 年 6 月 15 日							
中南地域県民局長 殿							
提出者							
住 所 青森県北津軽郡板柳町大字福野田字実田 25-19							
氏 名 株式会社 外 崎 道 路							
代表取締役 外 崎 正							
電話番号 0172-73-5597							
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。							
事業場の名称	株式会社 外 崎 道 路						
事業場の所在地	青森県北津軽郡板柳町大字福野田字実田 25-19						
計画期間	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 3 1 日						
当該事業場において現に行っている事業に関する事項							
① 事業の種類	土木・舗装工事業						
② 事業の規模	資本金 2,000 万円 令和 4 年度工事高 46,000 万円						
③ 従業員数	18 名						
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<table><tr><td>発生源</td><td>廃棄物</td><td>処理・処分</td></tr><tr><td>工事現場</td><td>がれき類 アスファルト破片 コンクリート破片</td><td>収集・運搬業者 → 中間処理施設</td></tr></table>	発生源	廃棄物	処理・処分	工事現場	がれき類 アスファルト破片 コンクリート破片	収集・運搬業者 → 中間処理施設
発生源	廃棄物	処理・処分					
工事現場	がれき類 アスファルト破片 コンクリート破片	収集・運搬業者 → 中間処理施設					



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括括責任者

・ 廃棄物処理計画の作成

廃棄物管理担当

・ 廃棄物管理状況の把握と検討

・ その他関係する事項

廃棄物処理担当

・ 廃棄物処理に関する各種事項の決定

・ 廃棄物処理方針の策定

環境管理担当

・ 廃棄物の発生抑制、再生抑制、適正処理の

推進、計画的な廃棄物の管理を決定する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	3,251 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃棄物処理責任者の配置 ・ マニフェスト伝票の管理の徹底		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	3,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 適正処理を確保するため、関係法令、その他の規制を遵守するとともに行政の環境施設に協力する。 ・ 定期的に廃棄物関連法令などの情報を収集、取りまとめを行い、全従業員に情報提供。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類 (アスファルト破片・コンクリート破片) ・ 主にマニフェスト伝票による管理
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類 (アスファルト破片・コンクリート破片) ・ 現場廃棄物処理責任者をおき、発生する廃棄物の種類、量の把握に努め収集運搬が適正に行われるように計画する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	3,251 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	3,251t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t

		<p>(これまでに実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理責任者の配置 ・ マニフェスト伝票の管理の徹底
--	--	--

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全 処 理 委 託 量	3,000 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3,000 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 適正処理を確保するため、関係法令、その他の規制を遵守するとともに行政の環境施設に協力する。 ・ 発生した廃棄物は自ら処理することを原則とし、処理業者に委託する場合であっても、運搬から処分に至るまで確認し的確に管理する。 ・ 定期的に廃棄物関連法令などの情報を収集・取りまとめを行い、全従業員に情報提供する。		
※事務処理欄			